（様式1）Ver.2023.10.1

|  |  |
| --- | --- |
| 所属長 | 動物実験管理者 |
|  |  |

受付番号（行政本部記入欄）

|  |
| --- |
|  |

**動物実験計画申請書**

申請日：　　　　年　　　月　　　日

**中京大学長　殿**

（申請者）

|  |
| --- |
| 所属： |
| 職名： |
| 氏名： |
| ※申請者が大学院生の場合は、下記に指導教員名、職名欄には学籍番号と学年を記入  指導教員： |

中京大学動物実験規程第7条に基づき、動物実験を申請します。

**≪　動物実験計画書　≫**

**Ⅰ．基本事項**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1． 課題名 |  | |
| 2．申請の種類 | 新規  　継続　（　　年度　承認番号　　　　　）  　その他（　　　　　　　　　　） | |
| 3． 実験の種類 | 試験・研究  　教育訓練  　その他（　　　　） | |
| 4． 実施体制 | 【責任者】（氏名、所属、職名、教育訓練の有無、経験年数）  　【実施者】（氏名、所属、職名、教育訓練の有無）  ①  ②  ③ | |
| 5． 実験実施期間 | 年　　　月　　　日　から　　　　年　　　月　　日まで　　※研究期間は最長5年 | |
| 6．実施場所 | 実験室 | キャンパス　　　　号館　　室名 |
| 飼養保管施設 | キャンパス　　　　号館　　室名 |

**Ⅱ．実験計画の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 7．目的・意義 |  |
| 8．実験の概要・  実験方法 |  |
| 9．動物実験を必要とする理由 | 検討したが、代替手段がない  　検討したが、代替手段の感度・精度が不十分  　その他（　　　） |
| 10．特殊実験の有無 | 安全管理に注意を要する動物実験に該当しない  　その他（　　　） |

**Ⅲ．実験動物の種類、使用数等**

|  |  |
| --- | --- |
| 11． 使用動物 | 【動物種】  　【系統】  　【性別】  　【使用数】  　【備考】 |
| 12．使用数の算出根拠 |  |
| 13．入手方法 | 購入　（業者名　　　　　　　　　　　　　）  　譲渡　（譲渡元　　　　　　　　　　　　　）  　その他（　　　　　　　） |

**Ⅳ．実験動物の苦痛、処置**

|  |  |
| --- | --- |
| 14．動物に対する実験的処置 |  |
| 15．想定される苦痛のカテゴリー（SCAW分類） | Ｂ：　動物に与える不快感が軽度であると思われる実験操作  　Ｃ：　軽度なストレスあるいは短期間持続する痛みを伴う実験  　Ｄ：　避けることのできない重度のストレスや痛みを伴う実験  　Ｅ：　麻酔をかけずに意識のある動物に対して、動物が耐えることのできる最大の痛み、あるいはそれ以上の痛みを与えるような処置 |
| 【上記分類の判断根拠】 |
| 16．苦痛の軽減方法 | 短期間の保定・拘束など、軽微な苦痛の範囲内なので特に措置を講じない。  　麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。（薬剤名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  　動物が耐え難い痛みを伴う場合、安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。  　科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず考慮しない。  　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 【人道的エンドポイントを適用する場合の判断基準】 |
| 17．安楽死の方法 | 過剰量の麻酔薬投与（薬剤名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  　炭酸ガスの吸入  　中枢破壊  　安楽死させない |
| 18．死体の処理方法 | 外部業者に委託　（業者名　　　　　　）  　その他（　　　　　　　） |

**Ⅴ．飼養保管**

|  |  |
| --- | --- |
| 19．飼育条件 |  |
| 20．保管条件 |  |
| 21． 飼養保管期間 | 項目5の実験実施期間と同じ  　　　　年　　　月　　　日　から　　　　年　　　月　　日まで |
| 22． 飼養者 | （所属、職名、氏名、教育訓練の有無、経験年数） |